北部地域活性化カタリバ報告

Vol.1

令和５年６月吉日

目次

1 カタリバの目的
2 第1回カタリバの開催概要
3 第1回カタリバの様子
4 次回の予定

1 カタリバの目的

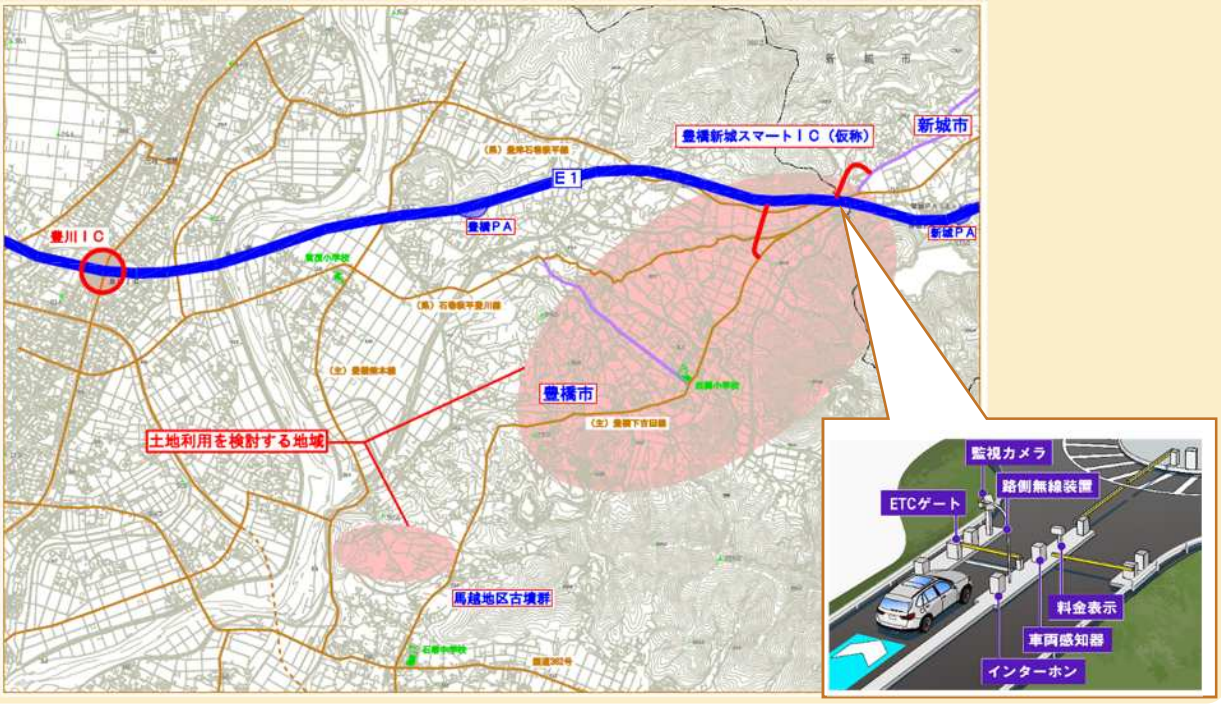
豊橋市では、新たな「まちの玄関口」となる豊橋・新城スマートインターチェンジ（仮称）の整備を契機として、インターチェンジ周辺地域の活性化を図るため、地域のみなさんと「まちづくり」について検討を進めています。

そこで、北部地域をはじめとして豊橋市全体が元気になるために、広く市民から参加を募り、インターチェンジを活用したまちづくりを話し合うワークショップを全3回（5/28（済）、6/4、6/18）実施します。

豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）とは？

「スマートインターチェンジ」は、ETC車載器を搭載した車両が利用できる無人の専用インターチェンジです。

■豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）位置図



2 第１回カタリバの開催概要

第1回ワークショップ「現地を知ろう！！」を開催しました！（令和5年5月28日（日））

まずは参加者の皆さんに北部地域を知っていただくため、北部地域のスポットを巡りました！

➢当日は、13名の方に参加していただきました。

➢バスツアーで北部地域（西郷・馬越）のスポットを巡りました。

➢当日の様子は裏面をご覧ください。

3 第１回カタリバの様子

下記のマップの順序で北部地域を巡りました。

●馬越長火塚古墳群

●松下農園

●北部配水塔屋上

●萩平町公民館

- ▸馬越長火塚古墳群では、実際に石棺の中に入り文化財センターの職員から石材や古墳に葬られた人物についてなどの説明を聞きました。
- ▸北部配水塔では、普段見られない配水塔屋上からの北部地域を一望する景色を堪能しました。
- ▸松下農園様、北部地域活性化委員長加藤様、百年柿園ベル・ファーム鈴木様より、地域の抱える課題や柿農園をはじめとした地域の産業のお話を伺いました。

4 次回の内容

次回のテーマは「ビジョンを考えよう！！」です。バスツアーで感じた北部地域の魅力や課題などを共有し、北部地域の特性を活かした目指すべきまちの将来像を考えます。

お問合せ
豊橋市　建設部　道路建設課　七原
〒440-8501　豊橋市今橋町１番地　東館６階
電話(0532)51-2501　✉hokubupj@city.toyohashi.lg.jp